

1 宇都宮の自然と交通

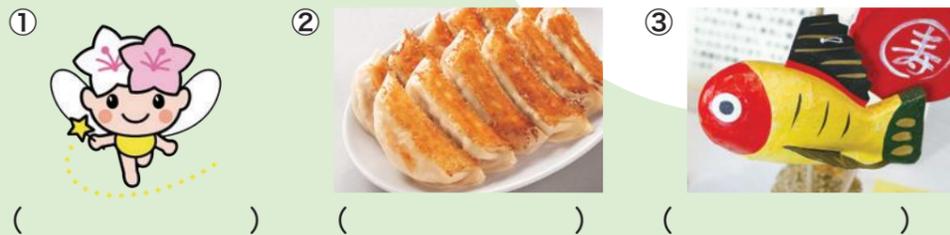
- ① 宇都宮の場所・地名 8
- ② 宇都宮の自然環境 14
- ③ 宇都宮の生きもの 22
- ④ 宇都宮の農産物 32
- ⑤ 宇都宮の交通 40

宇都宮の環境について、
さまざまな視点から見てみましょう。

1 宇都宮の場所・地名



▲空から見た宇都宮市



わかるかな？

下の①～③の写真は、宇都宮市とつながりが深いものです。何でしょう？

つかむ

わたしたちが住んでいる宇都宮の基本的なことについて話し合ってみましょう。

住めば愉快だ 宇都宮

UTSUNOMIYA

▲「住めば愉快だ宇都宮」
宇都宮市の生活拠点としての豊かさや楽しさを表現したブランドメッセージ。

学習問題

宇都宮とは、どんなまちなのでしょう。

宇都宮の基本データを知ろう

わたしたちのふるさと「宇都宮市」は、どんなところであって、どのくらいの人住んでいるのでしょうか。宇都宮の基本データを調べて、自分たちが住んでいる場所についてくわしくなりましょう。

なぜ宇都宮という名前になったの？
自分が住んでいる地区の名前はどうか？
→ p.13

周りには、どんな市や町があるの？

どのくらいの大きさでどのくらいの人住んでいるの？



- 1年 → 道徳 ● うつのみやの大いちょう (地域教材)
- 3年 → 社会 ● わたしたちの宇都宮市の様子 ● わたしたちの市や生活の様子のおもしろいこと
- 4年 → 社会 ● わたしたちの栃木県
- 5年 → 社会 ● 国土の地形の特色

調べる

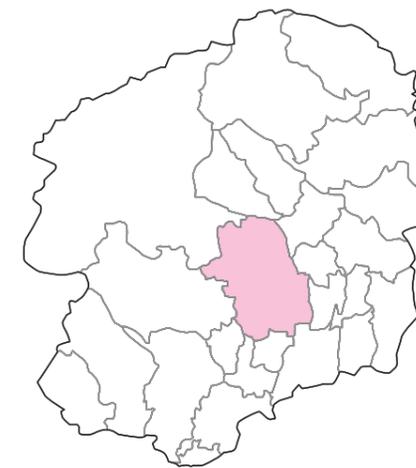
宇都宮の基本データを調べよう。

宇都宮市の位置

1 栃木県の中の宇都宮

宇都宮市は、関東平野の北部にあり、栃木県のほぼ中央にある市です。

栃木県の地図で宇都宮市と周りの市や町をさがしてみよう。



▲宇都宮市の位置

2 東京と宇都宮

宇都宮は東京と何キロくらいはなれているの？

東京駅から宇都宮駅まで東北新幹線でどのくらいかかるの？



▲宇都宮駅から東京駅まで

宇都宮市の人口・面積

宇都宮市の面積は416.85km²、その中に約52万人が住んでいます。北関東3県(栃木、群馬、茨城)の中で最大の人口規模です。

宇都宮市ってはじめから今の大きさだったの？
→ p.12,13

人口ってずっとふえてきて、これからもふえつづけるの？
→ p.12,13



▲東北新幹線

「宇都宮」という地名

宇都宮は二荒山神社の別称で、鎌倉時代ごろから地名として使われるようになりました。「宇都宮」の由来には「一の宮」「遷しの宮」「うつ(討伐)の宮」などいくつかの説があります。

▶宇都宮二荒山神社





▲大イチョウ



▲宇都宮市マスコットキャラクター
ミヤリー

市制110周年を記念して全国からの公募と市民投票によって誕生したマスコット。市の花であるサツキの冠をかぶった妖精をモチーフとし、宇都宮の「ミヤ」と妖精フェアリーから「ミヤリー」と名づけられました。



▲宇都宮市の市章

宇都宮市の木 イチョウ

宇都宮市の木は、1986(昭和61)年にイチョウが選ばれました。

市役所の近くに立つ大イチョウは、長年市民に親しまれ、市の天然記念物に指定されています。



あの大きなイチョウはいつごろからあるのだろう。



高さは何mくらいなのかな。



宇都宮市の花といえば サツキ

公園や家の庭など、市内のいろいろな場所に植えられているサツキ。1968(昭和43)年に「郷土の花」に選ばれ、2年後に「市の花」に決まりました。



宇都宮市文化会館にはたくさんのサツキが植えられているよ。



ミヤリーの頭についている花もサツキだね。

宇都宮市の市章

古い歴史をもつ宇都宮がこれからもかぎりなく発展していくことを表しています。



カメの甲羅と宇都宮の『宮』の字を絵にしたんだって。



『宮』は分かるけど、どうして『カメ』なんだろうか？

宇都宮城はなぜ「亀が丘城」とよばれるの？

宇都宮城は、遠くから見ると全体がカメの形のように見えたため、亀が丘城とよばれるようになったといわれています。

まとめる



宇都宮の基本データについて調べたことをまとめてみましょう。

宇都宮市の位置	
宇都宮市の面積と人口	
宇都宮の名前の由来 (自分の地区の名前の由来)	
宇都宮市の特徴的なもの	



ひろげる

宇都宮についてどんなことを知りましたか。またさらにどんなことを調べたいかを考えてみましょう。

宇都宮市には、50万人をこえるたくさんの人が住んでいます。栃木県の中央部、そして東京から北に約100kmの場所にあつて、便利なところにあります。



はってん 発展続く うつのみや

2050年まで50万人の維持を目標!

宇都宮市の人口は、これまでふえてきていましたが、今後はへっていきと予想されていて、2050年には、約45万人になってしまうみこみです。このようなことから、宇都宮市では、子育てがしやすく、住みやすくなるように環境を整えて、人口が維持できるように努力しています。

げんざい
現在までに
多くの町や村が
がっぺい
合併したんだね。



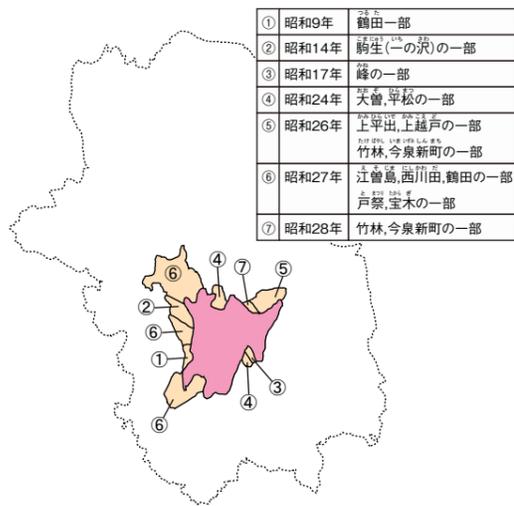
● 市域と人口の変化

① 1896 (明治29)年 (市制施行時)



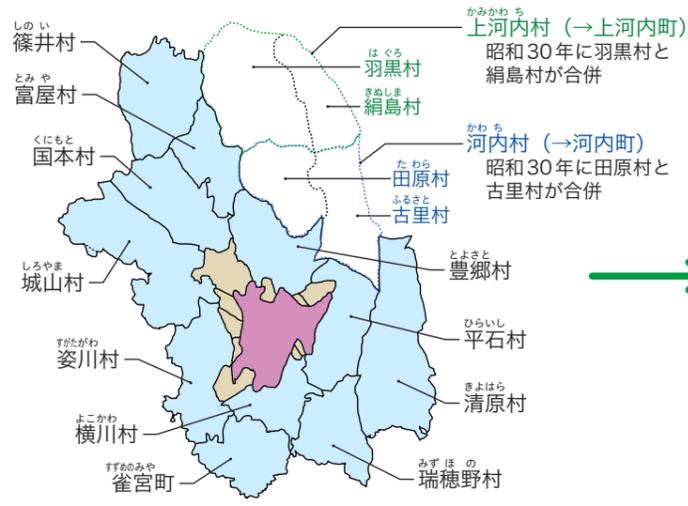
1896 (明治29)年
35,233人

② 1934 (昭和9)年 ~ 1953 (昭和28)年



1934 (昭和9)年 83,561人
1953 (昭和28)年 130,842人

③ 1954 (昭和29)年 ~ 1957 (昭和32)年

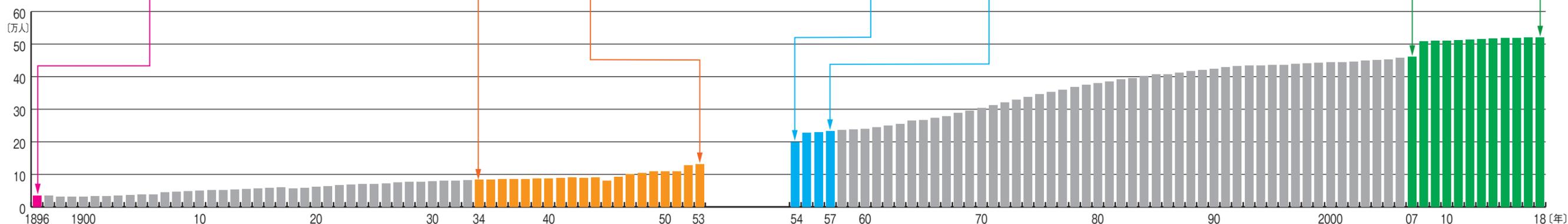


1954 (昭和29)年 198,982人
1957 (昭和32)年 232,819人

④ 2007 (平成19)年 ~



2007 (平成19)年 460,610人
2018 (平成30)年 520,407人



映画の舞台になった宇都宮

- 『町田くんの世界』 (2019年6月)
ロケ地◆ベルモール, JR宇都宮駅ペDESTリアンデッキ, ブラジルコーヒーJR宇都宮駅前店, オリオン通り商店街, パンバ通り, パンバ市民ひろば
- 『キングダム KINGDOM』 (2019年4月)
ロケ地◆若山農場, 大谷資料館
- 『ちはやふる - 結び-』 (2018年3月)
ロケ地◆宇都宮市体育館 (ブレックスアリーナ宇都宮), 宇都宮大学

「宇陽」って何?

宇都宮には、「陽南」、「陽西」、「陽北」、「陽東」という地域名があります。

これは、宇都宮の中心市街地を江戸時代に「宇陽」とよんでいたことにちなみ、昭和初期の土地区画整理事業につけられたよび名です。

「陽」は、人の集まるところ、にぎやかなところ、中心都市の意味として使われ、それぞれの名前は中心地から南、西、北、東に開発された地域という意味です。

● 地区名の由来 (旧町村名)

平石	かみひらいで、いし、上平出、右井両村の各一字をとった。
清原	宇都宮氏の家臣であった芳賀氏の本姓が清原氏であり、芳賀氏とゆかりが深い地区であることが由来。
横川	ひがしよこた、ひがしかわだ、東横田と東川田の一字をとった。
瑞穂野	こくもつ、ゆた、穀物が豊かに実るように願いをこめて付けられた。
篠井	こうざん、金鉱山のあとに篠井という井戸があったことに由来するとされる。
富屋	豊かな富にめぐまれた家が多いと言われたことに由来する。
国本	日本国のもととなるように願いをこめて名付けられた。
城山	宇都宮氏が城をさざいた多気山があることに由来する。
豊郷	江戸時代に二荒山神領だったことから、神社の祭神豊城入彦命の「豊」にちなんで名付けられた。

姿川	地区を北から南に流れる姿川にちなんで名付けられた。
雀宮	地区内にある雀宮神社に由来する。
上河内	河内郡の北部にあることから名付けられた。
絹島	きぬがわ、にしき、島がわ、鬼怒川と西鬼怒川の間に形成された中州に発展したことから、「キヌシマ」とよばれたことに由来する。
羽黒	地区内にある羽黒山、羽黒神社に由来する。
河内	しもつけのくに、とちぎ、下野国・栃木県の郡名である河内郡に由来。河内は、大きく湾曲して流れる鬼怒川の内に立地することに由来するとされる。
古里	名前を決めるにあたって、候補を出し投票で決定。最終候補として「古里」、「桑園」が残ったが、「古来本地方を卵の花の咲く里」という口伝をもとに決定した。
田原	古くから田原郷とよばれていたことに由来。

2 宇都宮の自然環境



▲羽黒山からの遠景

①

鬼怒川

②

大谷石

③

古賀志山

④

羽黒山

わかるかな？

下の①～④の写真とつながりの深いものについて、名前と番号を線で結んでみましょう。

①



②



③



④



つかむ

宇都宮の自然環境について話合ってみましょう。



▲大谷石採取場

ことば

大谷石

宇都宮の北西部にある大谷地区でとれる石のこと。加工がしやすい石で、石材として全国的に有名です。

→ p.20

学習問題

宇都宮の自然環境には、どんな特徴があるのでしょうか。

都市と自然がほどよくマッチ 住めば愉快だ宇都宮

宇都宮は、山や川、沼や田んぼなど、さまざまな地形が広がる、自然豊かなまちです。

わたしたちが住んでいる宇都宮の自然環境にはどんな特徴があるのかを調べてみましょう。



冒険活動センターで山登りをしたけど、どのくらいの高さだったのかな？



市役所の標高は、約116mだと聞いたことがあるよ。



宇都宮は雷で有名って知っていたけれど、どのくらい多いのだろう？ 雷は、昔から多かったのかな？

→ p.17



関連する
単元だよ

- 3年 → 社会 ● わたしたちの宇都宮市の様子
- 4年 → 社会 ● 健康な暮らしをささえている人たち
理科 ● 天気と1日の気温、水のゆくえ
道徳 ● 石のまち 大谷 (地域教材)

- 5年 → 社会 ● 国土の気候の特色 ● わたしたちの生活と森林
● 環境を守るわたしたち
理科 ● 天気の変化 ● 流れる水のはたらき
- 6年 → 理科 ● 大地のつくりと変化



調べる

宇都宮の山や川、気候などについて調べよう。

宇都宮の山と川

宇都宮は、安定した台地の上にあり、北部には山地、中央部に丘陵地があり、南部には平野が広がっています。また、市内にはたくさんの川が流れています。

1 羽黒山 (今里町, 標高約458m)

地元では、親しみをこめて、「おはぐろさん」と呼ばれています。秋には梵天祭りが行われています。

→ p.68

2 古賀志山 (古賀志町, 標高約583m)

いろいろな所に、岩の壁があり、ロッククライミングの練習場として知られています。

3 篠井・富屋連峰 (篠井町ほか, 本山標高約562m)

冒険活動センターでは宇都宮市立の全小中学校が宿泊体験学習を行っています。

4 多気山 (田下町, 標高約377m)

戦国時代、宇都宮氏の城がありました。山腹には多気山不動尊というお寺があります。



多気山不動尊の周りには、社寺林というお寺をかこむ森が広がっているよ。

→ p.30

5 八幡山 (埴田, 標高約159m)

市の中心部にあり、約800本の桜や700株のツツジが植えられ、市民に親しまれています。また、電波塔である宇都宮タワーが建てられています。



▲羽黒山



▲ロッククライミングの練習 (古賀志山)



▲冒険活動センター



▲多気山



▲八幡山公園 宇都宮タワーと桜



▲鬼怒川



▲市街地を流れる田川



▲姿川



▲釜川プロムナード

二層式構造河川

水路を上部と下部に分け、通常は上部に水が流れ、増水時は下部に水が流れるような仕組みの河川のこと。



▲鶴田沼

6 鬼怒川・田川・姿川

これらの川の水は、水道水や工業用水などに利用されています。市内を南北に流れ、市の中南部に広がる田んぼの水にも使われています。 → p.33



鬼怒川では、今も天然のアユが、海から上ってくるよ。



鬼怒川は、宇都宮の東部を流れていて、昔は船でいろいろなものを江戸に運ぶとても大事な川だったんだって。



田川は、市の中心部を流れているね。



姿川は、市の西部を流れていて、上流には大谷石がとれる場所があるんだよ。

日本初の二層式構造河川釜川

市の中心部を流れている川です。釜川の一部は、平成4年に日本初の二層式構造河川として完成しました。遊歩道「釜川プロムナード」などがあり、市民のいこいの場となっています。

市内に残る沼や湿地

代表的なものとして、鶴田沼、長岡湿地（長岡樹林地）、戸祭山緑地などがあり、貴重な湿地性の植物や動物など、たくさんの生きものがくらしています。



どんな生きものがくらしているんだろう？

→ p.24, 25, 28

宇都宮の気候

太平洋側の気候に属していますが、特に北側がいろいろな山に囲まれていて、内陸性の気候の場所もあります。また、全国の中でも夏場の雷の発生数が多い地域です。



一年で一番暑い（寒い）のは何月だろう。

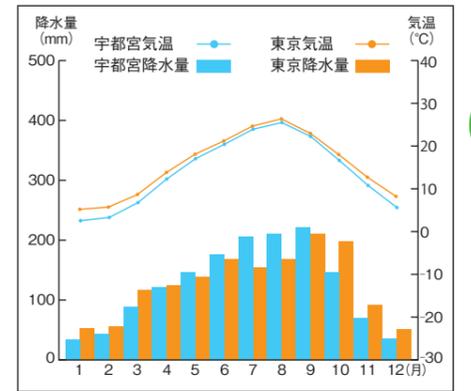


東京や他の都市と比べて、雨や雪は多いのかな？

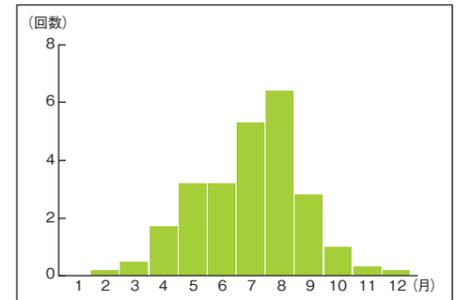


宇都宮の気候の特徴を、どのように生活に生かしているのかな？

→ p.19, 36

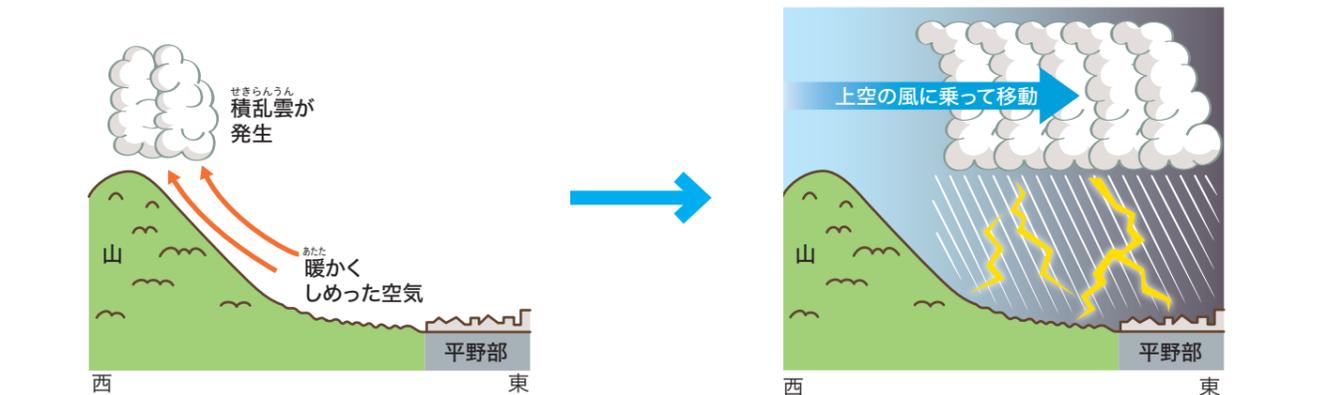


▲宇都宮と東京の気温と降水量 (理科年表2019)



▲宇都宮の月別雷日数 (気象庁ホームページ)

宇都宮の雷はどうやって起こるのか？



栃木県の地形の特徴や夏の南風の影響を受け、北部から北西部の山地の斜面付近の空気が暖められ、上昇気流が発生し、積乱雲が発達します。

発達した積乱雲は、雷を発生させ、はげしい雨をふらせます。積乱雲は、上空の西よりの風によって、東側の平地である宇都宮にやってきます。

■注意■ 雷の起こり方にはちがうパターンもあります。

雷都宇都宮

北に日光、塩原、那須の山々を背負い、南に平野が広がる宇都宮は、別称「雷都」とよばれるくらい雷が多い地域です。

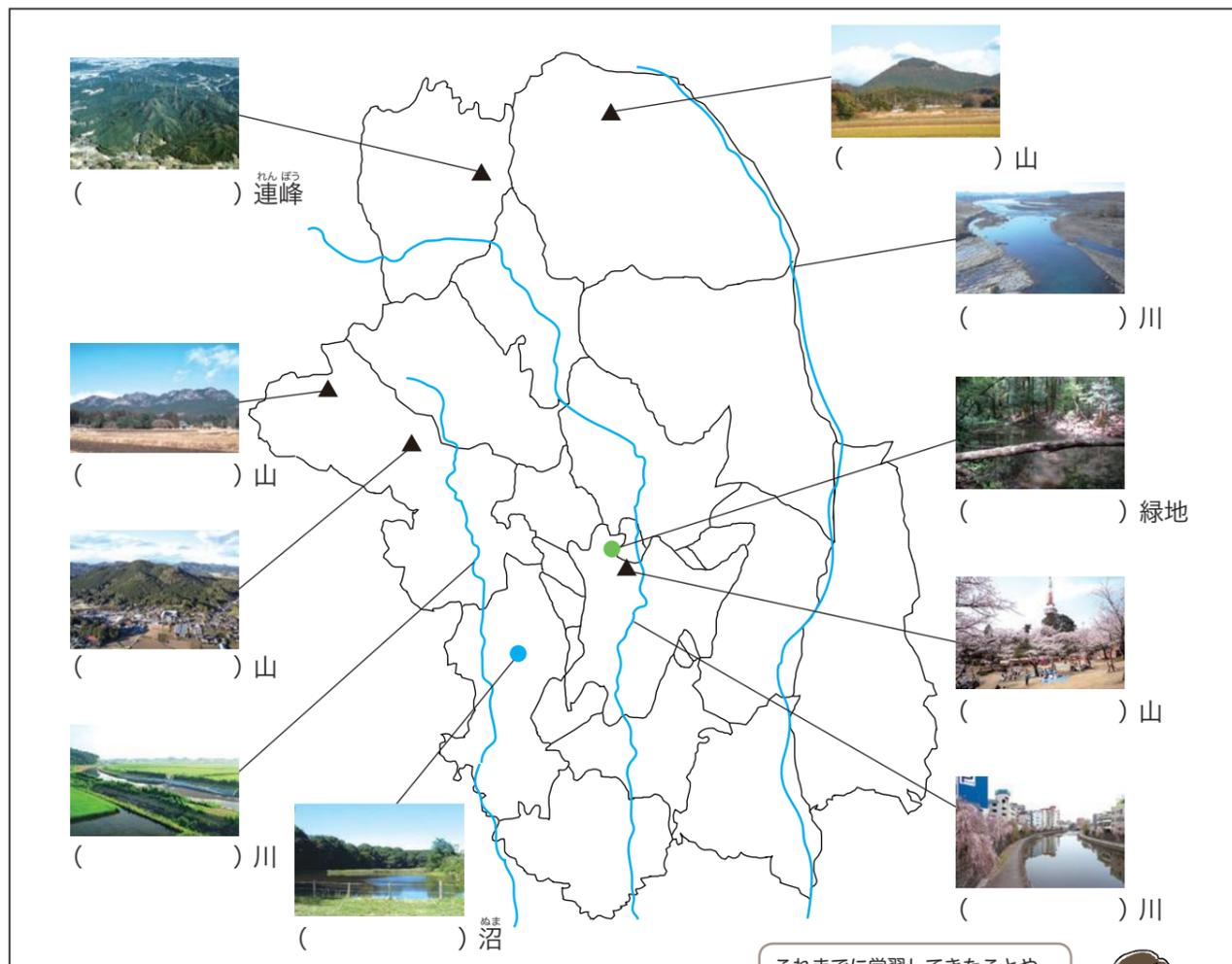
雷は「稲妻」つまり「稲」の「妻」とよばれます。「稲妻ひと光りで稲が一寸のびる」「雷と稲光は稲をよく育てる」といった言葉が語りつがれ、雷が多い年は豊作になると言われてきました。夏の雷は大量の雨をもたらします。その雨が稲の生育を助けることから、この言葉が生まれたのでしょう。



(宇都宮地方気象台提供)



宇都宮の自然環境について、調べたことをまとめてみましょう。



これまでに学習してきたことや、p.28を手がかりにやってみよう。



ひろげる

宇都宮の自然環境について、考えてみましょう。

宇都宮の北西部の山ではお祭りやイベントがいろいろと開かれ、たくさんの観光客が集まります。また、八幡山公園は、市街地に近いため、広く市民に親しまれています。

日光連山を源流とする川が豊かな水を宇都宮に運び、川の周りには田んぼや畑が広がっています。

宇都宮は、都市とともに、山、川、田畑など、多様な自然環境にめぐまれています。

まだまだわたしの知らないイベントや場所がありそう。



先人たちと雷とのつながり

雷様

宇都宮では、雷のことを「らいさま」とよび、神様として信仰の対象にするなど、雷とともに生活をする工夫をしてきました。

宇都宮には雷にまつわる神社がいくつかあります。

- 平出雷神神社 (平出町)
● 雷神社 (埴田)
● 雷神社 (細谷)
● 雷神社 (中里)

中でも有名なのは、平出雷神神社です。ここでまつられているワケイカツチの神様は、雷を起こすいわゆる雷神とはちがいで、雷を火と水に分けて鎮める力を持つ雷除けの神様として、大事にされてきました。

おそらく昔から雷の多い土地だったので、人びとは、なんとか雷とうまく付き合っけてくらしをしてきました。



▲平出雷神神社

雷から自分の身を守ろう!

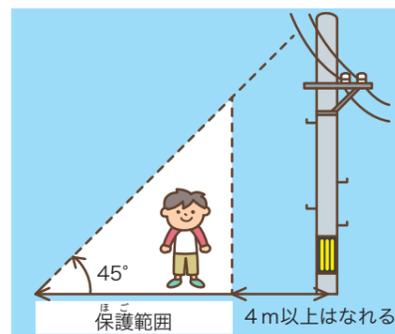
雷の音が聞こえたり、雷雲が近づいてきたりしている様子があるときには、落雷の危険があります。落雷から身を守るには、どうしたらよいのでしょうか。

① 安全な空間に避難しましょう

雷は、どこにでも落ちる危険性があります。外は危険ですから、建物の中にいましょう。車やバス、電車の中も比較的安全です。

② 安全な空間がない場合は……

近くに建物や車などの安全な空間がなかったときは、電柱などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上はなれた所に退避します。高い木の近くは危険なので、最低でも2m以上はなれてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高くつき出さないようにします。



気象庁のホームページを見てね!



(気象庁ホームページより)



真・雷様剣士 ダイジ



とちぎを守るヒーローとして、テレビ放映されています。「雷様」と名前のあるとおり、栃木県や宇都宮の人々にとって、雷はとても縁深いものだということが分かります。ちなみに、「ダイジ」は、「だいじょうぶ」という言葉の栃木県の方言から取った名前です。

→ p.61 宇都宮の言葉 (栃木方言)

宇都宮は昔、海の底だった!?



大谷石って何？

宇都宮の北西部にある大谷地区には、大谷石という、全国的に有名な石がたくさんとれる場所があります。大谷石の石切り場のあとや、風雨にさらされてさまざまな形になった景観を見ることができます。



▲風雨にさらされた大谷石の風景「越路岩」



大谷石だけでなく、宇都宮がかつて海だった証拠を、他の場所でもさがしてみましょう。



八幡山で今から1200万年前の地層が見られるよ。



そこで、貝とかサメの歯の化石が取れるんだって。



下岡本の鬼怒川でも、クジラとかイルカの化石が発見されているよ。

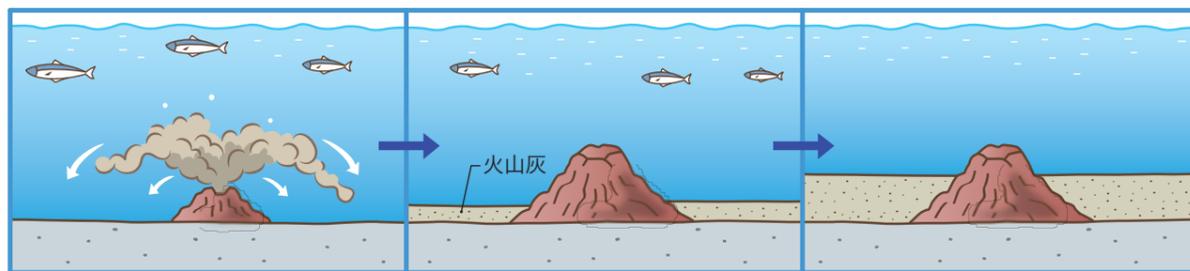


▲八幡山の地層



▲鬼怒川でクジラの化石を発見！

大谷石のでき方



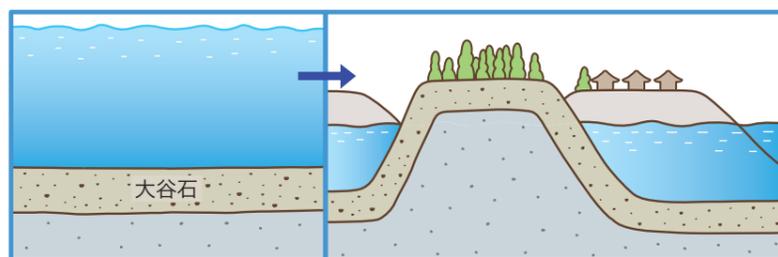
1500万年前、海底で、大規模な火山噴火が起きた。

噴火をくり返し、海底に火山灰がふり積もった。

長い間にふり積もった火山灰が固まり、大谷石ができた。

海の底の大谷石？

海底火山の噴火で、火山灰がふり積もって、固まってできた大谷石が、海底が上昇することによって、地表に出てきたのです。



大谷石文化が日本遺産に認定!!

地下迷宮の秘密をさぐる旅
— 大谷石文化が息づくまち宇都宮 —



平成30年5月24日に宇都宮市の歴史文化を代表する大谷石文化のストーリーが日本遺産に認定されました。



栃木県立博物館 柏村勇二さんのお話



みなさんの住む宇都宮は、大昔は、海の底にすんでいました。その海の底が上昇して、現在の宇都宮になったのです。その証拠として、丘陵地や河川ぞいのがけなどには、この時代の海底でつくられた地層が見られ、たくさんの海の生きものの化石が見つっています。

その代表的な場所としては、市の中心部にある八幡山公園が挙げられます。ここでは、数多くの二枚貝の化石が見つっていて、ウニのからやサメの歯なども見つっています。また、市内の鬼怒川の河川敷ではイルカやクジラ、アザラシなどの化石が数多く見つっています。2012年と2013年には全身の骨が並んだ状態のクジラの化石があいついで見つっています。これは、たいへん貴重な発見で、研究が進めば、当時の宇都宮の環境や、生きものの進化の過程などを知ることができます。

大昔の宇都宮はどんな環境で、どんな生きものがすんでいたのでしょうか。想像してみるとワクワクしませんか。興味を持ったなら、ぜひ調べてみてくださいね。

ことば

地層

がけなどに見られ、すなやどろなどが、それぞれ層になって重なって、しま模様のように見えるもの。

物考にしましょう



『とちぎの化石図鑑』とちぎの化石図鑑編集委員会



宇都宮市教育センター「宇都宮付近の地層と化石のじょうほう」



『化石ウォーキングガイド 関東甲信越版』関東甲信越版 相場博明ほか



宇都宮大学教育学部 理科教育学研究室「宇都宮の地層」

3 宇都宮の生きもの



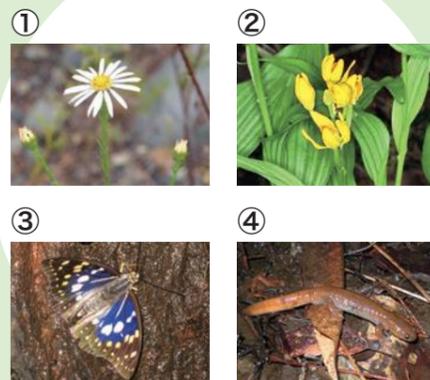
- 3年 → 理科 ● 生き物をさがそう ● 花のかんさつ ● こん虫のかんさつ
- 4年 → 理科 ● 季節と生き物
- 5年 → 社会 ● わたしたちの生活と森林 ● 環境を守るわたしたち
- 6年 → 理科 ● 生物どうしのつながり



▲城山のカタクリ

わかるかな？

下の①～④の写真は
何の生きものでしょうか？
名前と番号を線で結んで
みましょう。



①

②

③

④

オオムラサキ

トウキョウサンショウウオ

キンラン

カワラノギク



つかむ

宇都宮の生きものについて話し
合ってみましょう。

ことば

レッドデータブック

ぜつめつ
絶滅のおそれ
のある野生の生
きものをまとめ
た本です。



守ろう 豊かな自然

宇都宮には、山や川、林など豊かな自然環境が残
され、たくさんの生きものがくらしています。しか
し、この豊かな自然環境をこれからも守っていくた
めにはさまざまな問題があります。

宇都宮の生きものについてくわしく調べていきま
しょう。



宇都宮にもめずらしい生きものはいるのかな？



宇都宮のどういうところにどんな生きものがす
んでいるのだろう？

学習問題

宇都宮にはどんな生きものがすんでいるのでしょうか。



調べる

宇都宮の雑木林や水田・湿地、鬼怒川の河原にすむ生きものを調べよう。

雑木林にすむ生きもの

宇都宮には、雑木林がたくさん残っています。雑
木林には、多くの種類の生きものがすみ、たがい
にかかり合って生きています。



雑木林には、どんな生きものがくらしているの
かな？



雑木林は、人が手入れをしないと、ダメになっ
てしまうと聞いたことがあるよ。

1 コナラ・クヌギ

どんぐりが実る木。昔の人々は、切った木をた
き木にしたり、落ち葉を肥料にしたりしていたので、
人々の生活にとっても必要な木でした。

2 オオタカ (準絶滅危惧)*

林の中に巣をつくり、開けた草地でえさの鳥など
をつかまえるオオタカにとって、雑木林と田畑が混
在している里山は絶好のすみかです。



西刑部町のみずほの自然の森公園でオオタカの観
察会があったよ。

3 オオムラサキ (要注目)*

日本の国蝶。幼虫はエノキの葉を食べ、成虫はコ
ナラなどの樹液をえさとします。



茂原町にあるクリーンパーク茂原のえんとつに
は、オオムラサキがデザインされているよ。

ことば

雑木林

コナラやクヌギを中心とした、さまざま
な木が生えている人里近くの林。人の手が
入った環境であることが特徴。



▲雑木林



▲オオタカ



▲レッドデー
タブックとちぎ
ホームページ



▲オオムラサキ



▲レッドデー
タブックとちぎ
ホームページ

*『レッドデータブックとちぎ2018』のカテゴリより



▲カタクリ(上)とキンラン(下)



▲宇都宮市郊外の水田



▲ゲンジボタル

ホタルは水のきれいなところでしかくらしません。



▲トウキョウサンショウウオ

4 カタクリ・キンラン (準絶滅危惧)*

草かりや落ち葉さらいなど手入れがいきとどいて
いる雑木林に生育する植物です。



新里町のろまんちっく村でカタクリがさいているのを見たよ。

水田・湿地にすむ生きもの

鬼怒川や田川などの水にうるおされ、宇都宮には水田がたくさんあります。それらの水田のため池や水路もふくめた湿地の環境はとても豊かで、多くの生きものにとって貴重な生活の場となっています。

→ p.16,33



宇都宮の湿地ってどこにあるのだろう？
どんな生きものがくらしているのかな？



水田がへっていると聞いたことがあるよ。



生きものたちは、だいじょうぶかな？

1 ホタル

自然豊かで水がきれいな宇都宮では、ホタルを観察できる場所があります。

→ p.30



ホタルは宇都宮のどこで観察できるのだろう？
どんな種類がいるのかな？

2 トウキョウサンショウウオ (絶滅危惧Ⅱ類*, 市天然記念物)

全長8~13cmの両生類。春に湿地で卵を産み、夏から冬にかけては、近くの林の落ち葉の下でくらししています。



戸祭山緑地のトウキョウサンショウウオは宇都宮市の天然記念物に指定されているよ。

3 タガメ (準絶滅危惧)*

タガメは、カメムシの仲間です。肉食で、カエルやオタマジャクシなどを食べます。



タガメを見たよってお母さんに言ったら、場所は秘密にしておきなさいって。



みんながファッておしかけてとられたりするとこまるからね。

4 ハッチョウトンボ (要注目*, 市天然記念物)

成虫の大きさは17~21mmほどで、日本一小さなトンボとして知られ、世界的にも最小の部類。鶴田沼緑地に生息しています。

鬼怒川の河原にすむ生きもの

宇都宮を流れる鬼怒川の河原は、大きな石が転がる「れき河原」とよばれ、日本でも有数の面積をほこるたいへん貴重な環境です。



鬼怒川の河原にはどんな生きものがくらしているのかな？



川の水があふれないように、工事しているのを見たよ。



環境は変わってしまうのかな。

→ p.16

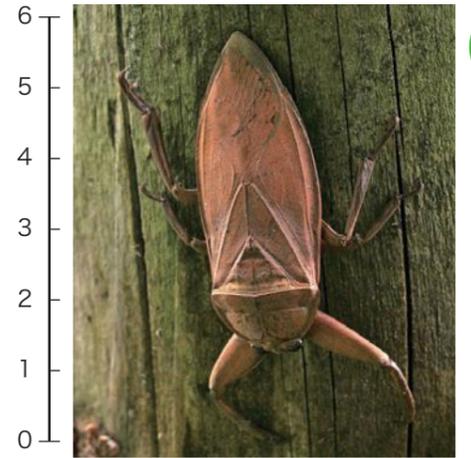
1 カワラノギク (絶滅危惧Ⅱ類)*

河原が増水しやすい場所に生える植物だよ。



川が整備されて、氾濫しにくくなったから、数がへってしまったんだって。

(cm)



▲タガメ

タガメは、カメムシの仲間です。国内最大級です。



▲ハッチョウトンボ

ことば

れき河原

高温で乾燥し、増水のたびに冠水。生きものにとってたいへん過酷な環境だからこそ、天敵や競争相手がいないという利点があり、その環境に適応した貴重な生きものがくらしています。



▲カワラノギク



▲コアジサシ



▲シルビアシジミ



▲ミヤコグサ

2 コアジサシ (絶滅危惧I類)*



石が多い河原に巣を作るんだよ。



数がかなりへっているんだって。



宇都宮市は、何か取り組みをしているのかな。

→ p.31

3 シルビアシジミ (絶滅危惧I類)*・ミヤコグサ



ミヤコグサがへっちゃったからそれを食べるシルビアシジミもへっちゃったんだって。



じゃあミヤコグサはどうしてへっちゃったの？



シナダレスズメガヤという外来種の植物がふえてしまったことが影響しているんだよ。

外来種問題

もともと生息していない地域に人間によって運ばれて放された生きものを外来種とよびます。外来種には、元からいる生きもの(在来種)にとって悪い影響をあたえてしまうものがたくさんいます。たとえば、外来種が在来種を食べたり、すみかをうばったりしています。



オオクチバス (特定外来生物)

オオクチバスは、他の魚などを食べる肉食魚で、元からいる魚類などの生息に悪影響をあたえます。

まちがった自然保護

どこかでとってきた生きものを別の場所に放すのは、自然保護ではありません。同じ種類の生きものでも、場所ごとにちがう特徴を持っていることがあるので、生きものに悪影響をあたえてしまうことがあります。

絶滅しそうな生きものを保護する活動は、その場所の特徴や別の生きもののかし方などまでよく調べ、よく考えてから行わなければいけません。



ミナミメダカ (絶滅危惧II類)*

日本産のメダカは、ミナミメダカとキタノメダカの2種類に分けられ、宇都宮産はミナミメダカにふくまれます。さらに、ミナミメダカの中にも、地域ごとに遺伝的特徴がことなる集団があります。

まとめる



宇都宮の生きものについて調べたことをまとめてみましょう。

	どんなところ?	生きものの種類
雑木林		
水田や湿地		
鬼怒川の河原		

問題点



ひろげる

宇都宮の生きものについて、考えてみましょう。

「豊かな自然を守るために、わたしたちにできること」

いろいろな生きものがくらししていくことのできる豊かな自然は、わたしたちの生活に深いつながりがあります。緑豊かな山やきれいな川など生きものがたくさんいる場所は、生きものにとってもわたしたちにとっても気持ちのいい場所です。

宇都宮の豊かな自然環境を未来に引きついでいくために、わたしたち一人ひとりにできる取り組みを考えてみましょう。

ぼくにもできること、あるかな？



自然がいっぱい うつのみや

宇都宮の自然環境

宇都宮には、北西部から北東部に広がる古賀志山や羽黒山などの山地、東部を流れる鬼怒川、市街地に残されている戸祭山緑地、ため池と樹林地のある昔ながらの里山のすがたを残している鶴田沼緑地、市域全体の郊外に広がる水田などさまざまな自然環境があります。



宇都宮に生息する生きもの

宇都宮には、それぞれの地域に特徴のある自然環境があり、その地域の自然環境に見合った生きものが生息しています。



古賀志山

標高582.8m
市内最高峰であり、岩場には貴重なツツジ類などがあります。

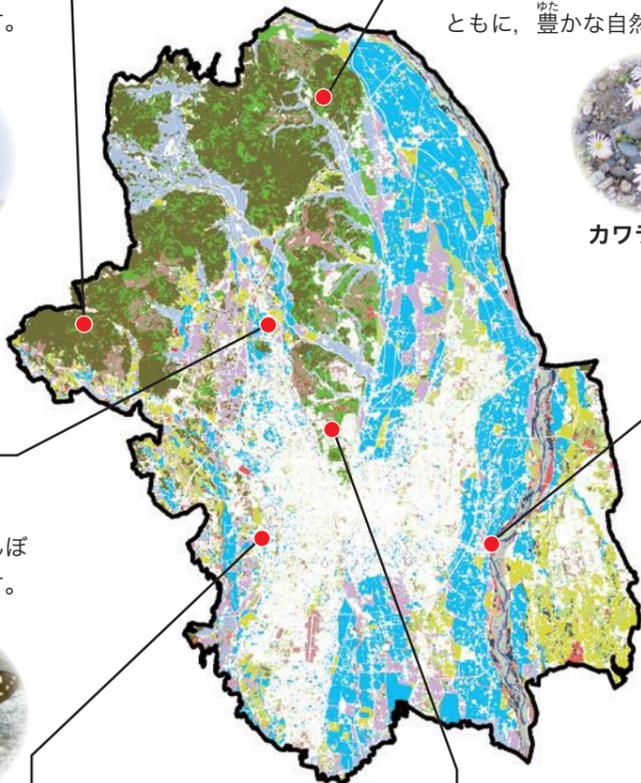


羽黒山

標高458.2m
山頂には羽黒山神社が鎮座し、ふもとの谷戸とともに、豊かな自然が残されています。



谷戸と羽黒山



サシバ



カワラノギク

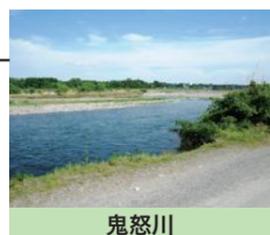


シルビアシジミ



郊外に広がる水田

郊外には水田が広がり、田んぼに生息する生きものがいます。



鬼怒川

市東部を流れる一級河川であり、貴重な動植物など、河原には多くの生きものが生息しています。



オオムラサキ



モウセンゴケ



鶴田沼緑地

鶴田沼は、その形から「ひょうたん池」とよばれ、貴重な湿水性植物などが生育しています。



戸祭山緑地

戸祭山緑地は、競輪場通りの北側にある小高い丘陵地です。四季を通して植物が観察できます。

* 谷戸…丘陵地が侵食されて形成された谷状の地形。

北東部地域

地域の北側には羽黒山の樹林があり、中央の台地と鬼怒川そいには水田が広がっています。

南側の市街地には樹林が残っていません。



スナヤツメ



フクロウ (幼鳥)



カワラノギク

北西部地域

地域の北側から北西側には古賀志山などの山地が広がり、スギ、ヒノキの林や、コナラ、アカマツの林が見られます。市街地の中にも樹林が残っており、河川そいには水田や草地が見られます。



エビネ



カジカ



マイコアカネ

中央地域

市街地の中にも樹林が残されており、地域の北東側には水田が広がっています。



ニホンカナヘビ



オオタカ



トウキョウサンショウウオ

東部地域

鬼怒川の河川敷にある樹林や草地と、川の周辺に広がる水田が広い面積を占めています。

地域の東側の台地では、樹林と農地が入りまじっています。



コアジサシ



カジカガエル



ミヤマシジミ

南部地域

地域の西側から中央へ広がる台地にある市街地と、田川そいの水田が広い面積を占めています。

市街地周辺の雑木林、田川そいの草地のほかに、湿地やため池が見られます。



モートナイトトンボ



ヨコハマシジラガイ



ヒメナエ

※平成21・22年度宇都宮市自然環境基礎調査より

ホタルのはなし



日本には約50種類ほどのホタルが生息していますが、宇都宮には7種類のホタルが生息しています。その7種類のうち、成虫が夜に光って飛ぶのはゲンジボタルとヘイケボタルだけです。

この2種類は、水ぎわのコケなどに卵を産み、育った幼虫は、水の中で巻き貝を食べて育ちます。やがて、幼虫は陸の土の中にもぐってサナギになり、成虫となります。このように育つので、ホタルは水がきれいな水辺の環境でしか生きられないのです。

2種類のホタルは、光り方にちがいがります。また、ゲンジボタルは強い光を放ち、ヘイケボタルの光はあまり強くありません。

● **ゲンジボタルの発光イメージ**

ゲンジボタルの動画
※西日本に生息しているゲンジボタルです。

● **ヘイケボタルの発光イメージ**

ヘイケボタルの動画

宇都宮の名木・古木リスト

宇都宮には、見ているだけで心がすうっとするような名木や、古くから人々のくらしといっしょにあった古木がたくさんあります。これからもずっと守っていききたいですね。



智賀都神社のケヤキ
(徳次郎町)



下ヶ橋の三ツ股カヤ
(下ヶ橋町)



多気山持宝院社叢
(田下町) → p.15



旭町の大イチョウ
(中央1丁目) → p.10



城山のシダレザクラ (孝子桜)
(城西小学校内) → p.60



八幡山の楠
(八幡山公園内)



姿川第一小のフジ
(姿川第一小学校内)



赤岩山のヒカゲツツジ群落
(古賀志町)



上籠谷のフジ
(上籠谷町)



羽黒山神社夫婦杉
(関白町)

宇都宮市の取り組み

宇都宮市では、宇都宮の生きものたちを守るために、2016(平成28)年3月に「うつのみや生きものつながりプラン(宇都宮市生物多様性地域計画)」を策定するなど、生物多様性の大切さについて多くの人に知ってもらい、その保全に取り組んでいます。



宇都宮市が発行した『人と生きものが育みあうまち うつのみや』という冊子には生きものがへっていく原因となる「4つの危機」が書かれています。

- 1 動植物のとり過ぎや生息場所の開発・汚染による影響
- 2 雑木林などが手入れされなくなった影響
- 3 外来種などによる影響
- 4 地球温暖化などによる影響

それぞれ「4つの危機」について、自分自身と照らし合わせながら考えてみましょう。

生物多様性

たくさんの種類の生きものや、生きものを取りまくさまざまな環境すべてが複雑に関わり合って存在していること。

ことば

栃木県立博物館の林 光武さんのお話



宇都宮は、山や林、そして水田はもちろん、人が住む家の周りまで、数多くの生きものがくらすしているすばらしい地域です。この豊かな自然や生きものたちを守るために、みなさんは何をすべきだと思いますか。

わたしが大切だと考えているのは、「知る」こと、そして「よく考えて」、「できることをする」ことです。

みなさんの身近な場所に、どのような生きものが、どのようにくらすしているのか知って初めて、その生きものたちがすむ環境を守ってあげようという気持ちが生れます。そして、生きものたちもわたしたちも幸せにくらすためにはどうすればよいかよく考えて、みなさんができることを実行してもらいたいと思います。

ぜひ、身近にすんでいる、目立たない小さな生きものたちにも目を向け、その生きものたちの声に耳をかたむけてあげてくださいね。